

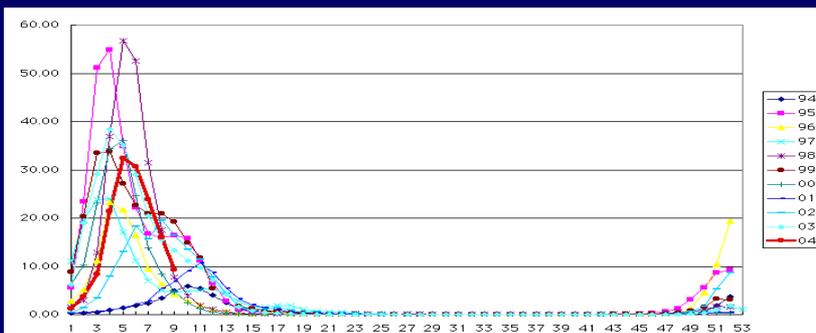
# 食のリスクコミュニケーション 講演会

## 人のインフルエンザ と 鳥のインフルエンザ

国立感染症研究所感染症情報センター  
岡部信彦  
平成 16年 3月 22日 (京都)

## インフルエンザ

2002/2003 国内インフルエンザ  
最近10年間で中規模の流行  
報告患者118万人  
推定患者数 1485万人  
推定入院患者 124万人



# インフルエンザ = かせ ?

- かせ、風邪、感冒、寒冒
- 急性上気道炎
  
- 流行性感冒
- インフルエンザ

## かせの主な症状

- はなみず
- くしゃみ
- せき
- 熱
- 頭痛・さむけ

## かぜの原因となるウイルス

- パラインフルエンザウイルス
- ライノウイルス
- RSウイルス
- アデノウイルス
- コロナウイルス
- インフルエンザウイルス
- その他……

- **かぜと  
軽いインフルエンザは  
区別がつかない！**

# 典型的なインフルエンザ

のど・鼻だけのはなかせ症状ではなく

高熱、痛み、だるさなど全身の症状がでる

症状が強い

合併症が起きやすい

**肺炎**・脱水症 熱性けいれん

まれではあるが、幼児の急性脳症など…

江戸時代、  
天下の横綱谷風は、  
はやりかぜにかかり  
本場所を休んでしまっ  
た

谷風もやられた  
はやりかぜ

江戸時代の人々は  
はやりかぜがくると  
**たにかぜ**  
とよんだ



# インフルエンザとSARS

	<u>インフルエンザ</u>	<u>SARS</u>
潜伏期	1-3日	2-10日
感染力		
潜伏期間	ほぼない	ない
発熱初日	高い	極めて低い
経過	次第に下がる	次第に上がる 10日目頃ピーク
感染の拡大	市中	入院医療機関

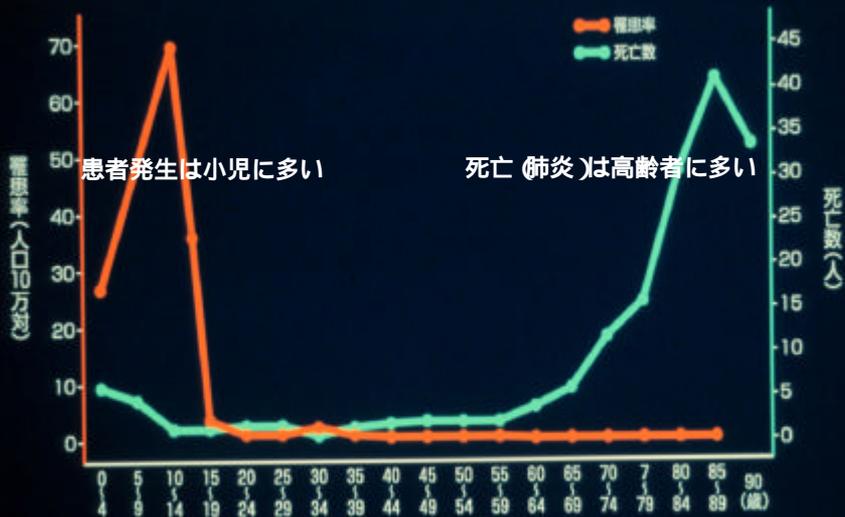
## インフルエンザは感染性が強い



ウイルスは咳、くしゃみをするときに水滴ないし小さな飛沫によって感染する。

ウイルスは鼻、口、目を通して体に入る。

## 罹患率と死亡数(年齢別)



厚生省疫学統計課及び人口動態統計課疫学統計情報部 1996

## インフルエンザの原因

- インフルエンザウイルスの感染による

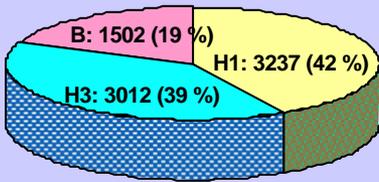
A型 ソ連型 (H1N1) 流行する  
香港型 (H3N2) 流行する

B型 流行する

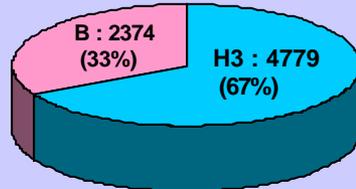
C型 流行しない

# 流行しているインフルエンザウイルス

2001/02シーズン



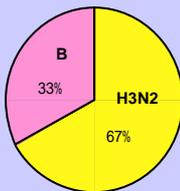
2002/03シーズン



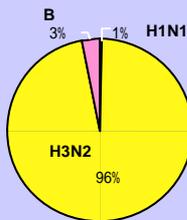
A型 ソ連・H1N1  
 A型 香港・H3N2  
 B型

# 2002/03シーズンの諸外国におけるインフルエンザウイルス分離状況

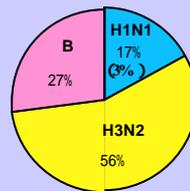
日本



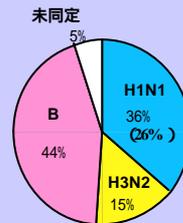
南半球諸国



ヨーロッパ諸国



アメリカ



(%) : H1N2 in total H1N1 isolates

# 新型インフルエンザウイルス の登場

- A/H1N1 (ソ連型)、A/H3N2 (香港型)などではなく

新たなH (1-15)、N(1-9)の組み合わせによるインフルエンザウイルスの登場

## これまでの新型インフルエンザ登場の歴史



Credit: US National Museum of Health and Medicine

1918年 スペインかぜ

2000 - 4000万人死亡

A(H1N1)



1957年 アジアかぜ

100 - 400万人死亡

A(H2N2)

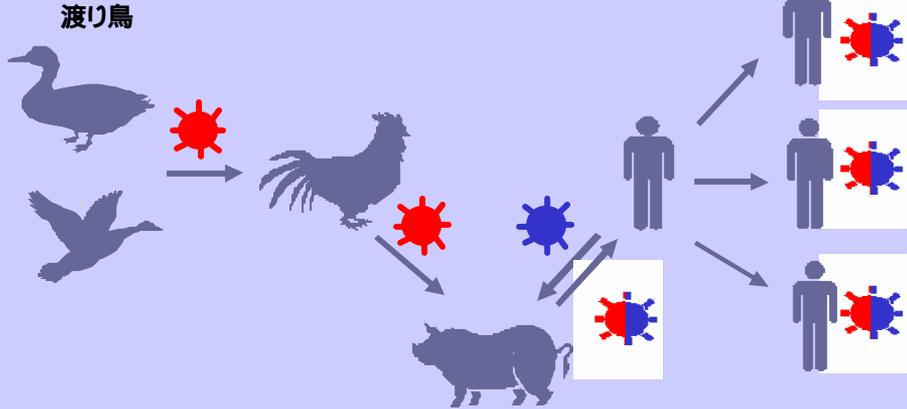
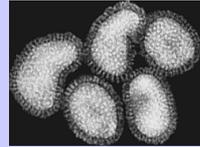


1968年 香港かぜ

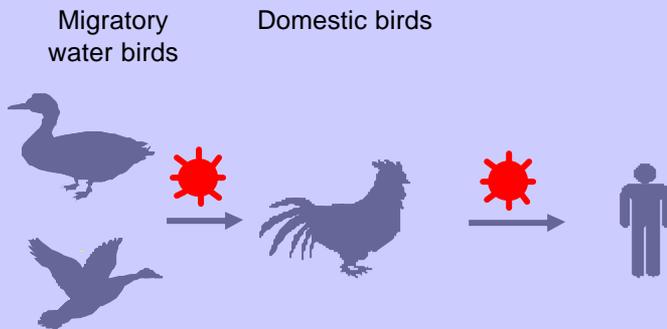
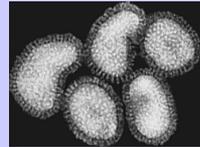
100 - 400万人死亡

A(H3N2) :現在流行中

# 新型インフルエンザウイルスの登場 - ブタを介して -



# 新型インフルエンザの登場 - 鳥から直接 -



- 香港 1997, H5N1
- 香港 1999, H9N2
- オランダ 2003, H7N7
- 香港 2003, H5N1
- ベトナム、タイ 2004 H5N1

# 香港におけるヒトからの トリ型インフルエンザウイルス(H5N1)の分離 1997

1997年、香港ではトリ型インフルエンザ(H5N1)のヒトにおける初めての流行があった。

当時18名が感染、6名が死亡。

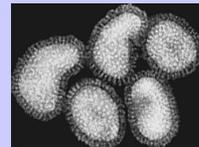
ヒト・ヒト感染はない、とされた。

香港において鶏150万羽が殺処分された。

その後、ヒトでの感染はなかったが、鳥類での感染は時々見られていた。



## 新型インフルエンザの登場 - 鳥での突然変異 -



Migratory  
water birds

